

旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
2023年4月30日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	聖 歌 402「丘 に た て る」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖歌642「望みも消えゆくまでに」	一 同
教会学校	「 天 の 階 段 」	牧 師
讃 美	聖歌420「あなたの持てる悩みは」	一 同
聖書朗読	詩篇第4篇	
奨 励	詩篇の福音 (第4回)	牧 師
主 題	「眠られぬ夜の祈り」	
讃 美	聖 歌 294「静かに待てわが魂よ」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖 歌 376「父、御子、御霊の」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	エゼキエル書第44章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》

4 / 30(日) 聖日礼拝
5 / 1 (月)
/ 2 (火)
/ 3 (水) 憲法記念日
/ 4 (木) みどりの日
/ 5 (金) 子供の日
/ 6 (土) 13-16子供オーブ・ハウス



《祈りの課題》

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

「羊の休息」

良書ハイライト (フィリップ・ケラー著「羊飼が見た詩篇23篇」p.39-40)

羊は、奇妙なことだと思われるだろうが、生れついた性質上、次のような四つの条件が満たされない限り、横になって伏すようにさせることはほとんど不可能である。

- ① 臆病なために、恐れが全然ない状況でない限り、横になろうとしない。
- ② 群の中での社会的行動のために、仲間のだれとも摩擦がない状態でないと、横にならない。
- ③ ハエや寄生虫に苦しめられているなら、羊は横にならない。こういう害虫からまぬかれている時にのみ、彼らはくつろぐことができる。
- ④ 最後に、羊は食物を求める必要があると感じている限り、横にならない。飢えていない状態でなければならない。

休息しているためには、恐れ、緊張、腹立たしさ、飢えから解放されているというはっきりした意識がなければならないというのは重大なことである。この状況に関連して特別に注目すべきことは、こういう心配がない状態を備えることができるのは、羊飼い自身だけであるという点である。羊の群れが種々の影響力でかき乱されているかいけないかは、ただ所有者の勤勉さ如何にかかっている。

羊にそのようなきびしい影響を与える四つの要因の一つ一つを調べてみると、持主が管理に当って持つ役割の重要さが非常なものであることがわかってくる。羊を伏させ、休ませ、くつろがせ、満ち足り、落ち着き、繁栄することができるようにするのは実際に持主なのである。せかせかして、不満足な、いつも揺り動かされ、乱されている羊の群は決してうまくいかない。人々についても同じことである。

一般には知られていないことだが、羊は非常に臆病で、恐怖に陥りやすいので、迷ったうさが突然、うしろのやぶから飛び込んで来ても、群の全部があわてふためいて走り出すこともあるほどである。一頭がびくっとして恐怖にかられて走ると、ほかの十頭以上がわけもわからずに恐れ、何でおびえているのかわからないまま、いっしょに駆け出す。